

## 市長とのおしゃべり会 会議録

日 時	令和6年11月12日（火） 11時～12時			
場 所	碧南福祉センターあいくる 第2会議室			
出席者	申込団体	へきなんアレルギーの会	人数	13人
	碧南市	小池市長		
テーマ	アレっ子の学校生活について			
(概要)	・アレっ子の給食や「アレルギー勉強会」について			

### 要旨

主な意見は以下の通り

- ・地産地消としてピーナッツが給食に出たが、それが空気中に舞い、換気をしていても症状が出たことがある。命にかかわるので、ピーナッツが出る日は行かせられない。
- ・みどりの学校は山の中なので、何かあった時に不安はある。救急車が入れなかったりする。学校給食はしっかりしているが、修学旅行やみどりの学校は受け入れ側による。→通常ではない、行事ごとの時に何かが起こることが多い。
- ・親は対処の仕方がわかっているが、養護教諭たちがどこまで知識があったり、対応できるか。事前に面談で伝えることはできるが、知識が足りない部分がある。養護教諭向けの勉強会を行いたい。
- ・毎日弁当を作っている。なるべく給食に似たものを持たせているが、たまに何か分からないようなメニューもある。写真があるとよい。  
→新川小学校は写真アップしている。
- ・子どもが生まれるまで保育士として働いてきたが、家庭状況の把握に加えて、食物アレルギーの把握はとても難しく、看護師に大変助けてもらった。担任の先生も、忙しいと思うので、どうしても意識は低くなる。なので、各学校にも看護師を配置するなど詳しい先生がいるとよいと思う。
- ・甲殻類アレルギーがある子を持っているが、修学旅行の時、友達が気づいて知らせてくれた事があった。周りの子たちに知ってもらうことも大切。親の承諾も当然必要だが、周りの子どもたちに伝えることも大切。子どもも含めて勉強するのもよいのでは。

#### (市長総括)

- ・碧南市では給食センターの構造上、現状、除去食まで行うことは難しい。
- ・先生たちも精いっぱい頑張っているが、すべてを把握し、責任を持つのは大変だと感じる。先生、児童、親がお互いに歩み寄り、各児童の特性を定期的に伝えるなど、やはり話をすることが大事。